

モニタリングシート（院・教育学専攻）

No.	モニタリング項目	モニタリングデータ	継続事項	課題	次へのアクション
1	前年度の向上・改善施策の実施状況（成果・課題・継続事項）はどのような状況であるか。	点検・評価課題に対する向上・改善施策	向上・改善施策を踏まえ、研究科内での問題意識の共有や関連事項の検討を進めていく。また、大学院改革の方向性を踏まえ、引き続き FD 研修をはじめとして専攻内で共有を図りながら取り組みを進める。	新設科目「フィールド研究」に関する FD 研修が十分なされていない。	今年度の FD で関連するテーマの研修を実施する。（※FD 企画シート参照）
2	定員充足の状況はどのような状況か。	定員充足率データ	定員充足へ向けた各種取り組みを単年で辞めず、学生の意見を聞きながら継続して進めていく。	特に前期博士課程の定員充足率が低く、定員未充足の状態である。	オンデマンド型の大学院説明会を実施し、学内だけでなく多方面に向けて教育学専攻の大学院について紹介するなど、定員充足の施策を進める。
3	DP・CP と関連したカリキュラムが適切に設計されているか。	履修要項等の各種データ	特になし。	大学院改革の方向性を踏まえ、改組後のカリキュラムでは、DP と CP の連環を意識して設計することが必要である。	大学院改革に向けて、3 専攻内で意見交換し、具体的な案を作成する。
4	DP に沿って設定された各学位プログラムレベルにおけるカリキュラムについて、適切に実施されているか。	・履修状況等の各種データ ・大学院アンケート結果	大学院アンケート結果では、研究科毎の結果を把握することはできない。しかし、科目別履修人数一覧などから、学生の希望に応じて科目が選択できるなど適切にカリキュラムが運用できており、現在の各授業の質を引き続き担保していく。	特になし	特になし
5	学修成果の到達度の把握はどのようにおこなっているか。	学修成果の把握の取り組み等 大学院アンケート結果	所属人数が少なく、DP の達成状況を一概に判断はできない。しかし、修了時の修士論文については、概ね DP を達成できている状況であるため、一定の質は保証できていると感じている。	学修成果の可視化の取り組みが不十分である。	全学的に大学院の学習成果の可視化に取り組む必要性を踏まえ、研究科内でも学習成果の可視化の取り組みを検討する。
6	各科目の成績および論文・研究が適切に評価されているか。	・成績評価に関する取り組み ・大学院アンケート結果	大学院アンケート結果では研究科毎の結果を把握することはできないため全体的な傾向しか把握できないが、アンケート結果からは適切に評価がなされている。	特になし	特になし

No.	モニタリング項目	モニタリングデータ	継続事項	課題	次へのアクション
7	職位構成・年齢構成のバランス、非常勤比率に留意し、かつカリキュラムに基づく教員組織となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・所属教員の状況 ・科目群別非常勤比率 	教員の属性や研究領域のバランスを検討し、中長期的なスパンでの見直しを進める。また、大学院改組においては、各専攻のバランスを考慮した採用計画を進める。	教員構成に偏りがみられるので、中長期的に教員構成の是正が必要である。	教員の属性や研究領域バランス、非常勤比率には、カリキュラム全体の見直し関わってくるため、大学院改組によるカリキュラム編成と教員組織の計画について、合わせて検討する。
8	課題認識および外部環境を踏まえた独自のFD活動を実施できているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・FDの取り組み状況 ・前年度点検シート ・点検・評価課題に対する向上・改善施策 	専攻の課題を踏まえたFD研修会を実施していく。	各種課題に対して、一部の課題に対応するFDしか取り組めず、課題への対応がFDとして不十分であった。	各課題や今後の方向性も鑑み、様々なテーマ、多様な実施方法でのFD研修を開催する。
9	上記以外で「継続すること」「課題」「次へのアクション」「全学レベルで検討すべき事項（提案）」があれば入力。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種データ 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援や質問の機会など日常的に研究交流できるよう、院生と教員の研究室配置の改善を提案する。 ・「特別支援学校教諭養成課程」に関連する専修免許状を取得できるカリキュラムについて具体的に検討する。 	院生と教員の研究室配置が、日常的に研究交流するには不十分である（大学院生アンケート）。特支専修免許取得をするための担当教員が不足している。	学部改組における研究室配置の見直しの中で、院生と教員の研究室の配置について検討する。大学院改革の方向性の中で、特支の専修免許取得を可能にする教員配置について検討を進める。